

04

ゼロ予算で新たな取り組みを



新型コロナウイルス感染症による経済への影響は、リーマンショックのとき以上と想定されます。そのような中でも行政サービスを低下させないよう、予算が無くてもできる事業を実施していきます。

押印廃止に伴う事務手続きの効率化【新規】



「脱ハンコ」を積極的に推進し、届け出・申請等や事務手続きの効率化・簡素化を図ります。

おくやみサポートコーナーの設置【新規】



身内の人が亡くなった後の手続きをまとめてご案内する「おくやみサポートコーナー」を市民総合窓口課(総和庁舎)に設置します。

公共施設の ネーミングライツの導入【新規】



新たな財源を確保することで、施設の運営維持と利用者のサービス向上を図ります。

IT戦略プランの策定【新規】

今後のIT関連施策についての方向性を定めた、市独自のIT戦略プランを策定します。

企業版ふるさと納税の推進【新規】

地方公共団体の取り組みに賛同した企業から寄付を受けられる、企業版ふるさと納税の募集を開始します。

03

いきいきと学べる環境づくりを



学習支援アプリケーションの導入 【拡充】1,359万円

オンライン学習支援アプリケーション(AI型ドリル教材ソフトウェア)を導入し、児童生徒が主体的・対話的で深い学びができるようサポートします。

「生きた英語」にふれる機会の充実 【継続】8,175万円

英語検定の受検料半額補助を継続します。また、全小中学校への外国語指導助手(ALT)の配置やイングリッシュキャンプを開催し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成します。

中学校の長寿化 【新規】1,109万円

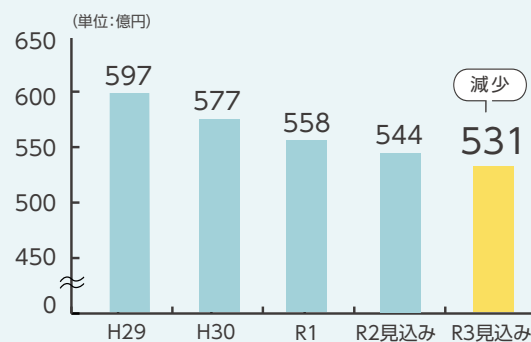
古河第一中学校の体育館および校舎の長寿化に向けた基本設計を実施し、生徒が安心して学べる教育環境をつくりまします。



タブレット端末等の購入 【R2からの繰越・継続】9,422万円

授業で用いる大型デジタルテレビや指導者用タブレット端末の整備を進め、双方向型の授業を展開し、子どもたちの「論理的に考える力」「情報を活用する力」を育成します。

市債残高の推移 (一般会計)

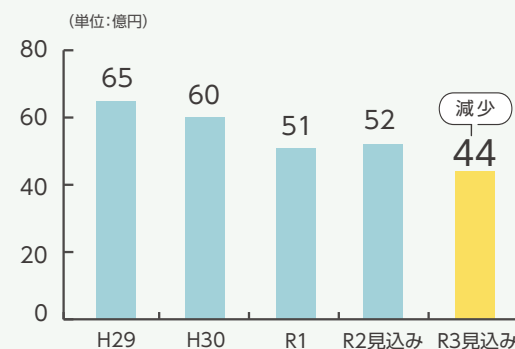


市の借金 (市債)

市債新規発行額を毎年の償還額以下に抑制し、市債残高の削減に努めています。

今年度も公共施設整備等の財源として発行し、長期分割払いをすることで、世代間の負担公平の確保と財政の平準化を図っていきます。

基金残高の推移



市の貯金 (基金)

今年度は事業の見直しを行い、歳出を削減することで基金の取り崩しを最小限に抑えました。

市民の安心・安全な生活を支え、大規模自然災害等の緊急の支出に備えるため、基金の確保に努めていきます。